

2025年7月17日
炎重工株式会社

OceanBiz2025 in SHIZUOKA にて 水上ドローンの展示とデモを行います

清水港にて、護岸点検のデモンストレーションと水上ドローンの操作をご体験いただけます。

炎重工株式会社（所在地：岩手県滝沢市穴口 57-9、代表取締役：古澤洋将、以下弊社）は、7月28日（月）～29日（火）に静岡県・清水マリンターミナルにて行われる OceanBiz2025 in SHIZUOKA の『日本水上ドローン協会』ブースに参加いたします。

展示対象：超小型水上ドローン『Swimmy Eye』



全長0.6m、軽量約7kg、組立不要。持ち運び～使用～片づけまで一人ででき、省人化を後押しします。スイッチを入れて1分で起動、陸地から遠隔操作で水域の『見る』『撮る』『測る』仕事を行い、水域で働く方々の業務効率性と安全性の向上に貢献します。

7月28日(月)に展示、29日(火)にデモを行います。

デモ会場の清水港護岸にて、作業員が Swimmy Eye を遠隔操作する様子や操作用リモコン(プロポ)のモニターで点検中のカメラ映像をご確認、操作もご体験いただけます。是非お越しください。

■OceanBiz2025 in SHIZUOKA ご案内

開催日時：2025年7月28日（月）～29日（火） 10:00～17:00

開催場所：清水マリンターミナル

〒424-0922 静岡県静岡市清水区日の出町 10-80

小間番号：展示・T11(日本水上ドローン協会)、デモ・テントD

入場料：無料（以下より BLUE ECONOMY EXPO@SurugaBay へご来場申込をお願いいたします）

来場申込：BLUE ECONOMY EXPO@SurugaBay 公式サイト

<https://blue-economy-expo.jp/>

■超小型水上ドローン『Swimmy Eye』開発の背景

2023年に自社開発の水上ドローン製品7種を発売、ドローン専門展示会にてお披露目したところ、もっとも多くのお引き合いをいただいたのが、水域インフラ(下水道など管渠・暗渠や橋梁・河川・ダム)の維持管理に必要な調査・点検・測量といった「見る」「撮る」「測る」用途です。

落水リスク(溺れる・流される)の伴う水域の仕事において、働く方々の安全性向上や業務の効率化・省力化、人手不足の解消は、当時から喫緊の課題として、ドローンやAIなど新技術の導入が求められていました。使用を予定・希望される水域は、現在人が対応している場所だけでなく、人が近づきにくい場所も少なくありませんでした。

お客様へのヒアリングを重ね、もっとも必要とされている機能に絞って予算への負担を軽減し、少人数で対応可能かつ狭い現場で小回りの利く小型・軽量サイズを開発、視線を移動するように自然な動きでカメラ撮影ができることから「泳ぐ目」＝「Swimmy Eye」と名づけ、2024年6月に発売しました。2025年3月には、下水道・排水施設の維持管理機器の老舗企業のご協力も得て改良を行い、下水道など管渠・暗渠に対応した『Swimmy Eye 下水道点検モデル』も販売開始しました。

水上ドローンは、水域の維持管理をDX・自動化する“初めの一步”として、また、水域におけるドローンの利活用に“第三の選択肢”を提供しています。

■参考リンク

OceanBiz2025 in SHIZUOKA 公式サイト

<https://japan-underwaterdrone.com/oceanbiz2025/>

BLUE ECONOMY EXPO@SurugaBay 公式サイト

<https://blue-economy-expo.jp/>

一般社団法人 日本水上ドローン協会公式サイト

<https://surfacedrone.org/>

超小型水上ドローン『Swimmy Eye』製品情報

<https://www.hmrc.co.jp/product/marine-drone/rbbf/>

本件に関するお問い合わせ先

炎重工株式会社
info@hmrc.co.jp

炎重工株式会社

URL <https://www.hmrc.co.jp/>